

「平成31年度 学力向上アクションプラン」

足立区立花保小学校 校長 半田 英雄

	新 継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 <誰が、何を、どのように>	達成確認方法	達成目標（＝数値） <いつまで・何を・どの程度>
1	継 続	朝学習 (パワーアップタイム)	全児童 国語 算数	毎週水 (漢字) 毎週木 (算数)	【指導者体制】担任 【取り組みのねらい・目的】学習内容の復習・基礎学力の定着 【使用教材】漢字プリント、東京ベーシック診断シート・次へのステップ・その他計算等のプリント学習	東京ベーシック診断シート、及び次へのステップなどのミニテストを実施。	年度末までに東京ベーシック診断シートで正答率100%、毎回のミニテストで正答率80%以上の結果。
2	継 続	朝学習 (パワーアップタイム)	全児童 国語	毎週火 (読書)	【指導者体制】担任 【取り組みのねらい・目的】読書に親しむ。読む力を伸ばす。月に1回きょうだい学級での読み聞かせ交流を行い、相手意識をもって本を選び、読む機会を設ける。	保護者の学校評価における数値向上	全校児童が本に親しむことにより、読書を身近に感じさせる。(年間の読書量を増やす。)
3	継 続	花保ステップタイム	全児童 国語 算数	毎週水5校時	【指導者体制】担任・副担任の専科教員 【取り組みのねらい・目的】学習内容の復習・基礎学力の定着 【使用教材】漢字プリント、東京ベーシック診断シート・次へのステップ・その他計算等のプリント学習	東京ベーシック診断シート、及び次へのステップなどのミニテストを実施。	年度末までに東京ベーシック診断シートで正答率100%、毎回のミニテストで正答率80%以上の結果。
4	継 続	放課後学習	全学年 国語 算数	週1回	【指導者体制】担任 【取り組みのねらい・目的】学習内容の復習・基礎学力の定着が十分でない児童の個別指導を行う。 【使用教材】漢字プリント、東京ベーシック診断シート・次へのステップ・その他計算等のプリント学習	東京ベーシック診断シート、及び次へのステップなどのミニテストを実施。	年度末までに東京ベーシック診断シートで正答率100%、毎回のミニテストで正答率80%以上の結果。
5	改 善	放課後補習	全学年 国語・算数 学力調査正答率30%以下の児童	個人面談期間	【指導者体制】管理職・算数少人数・専科教員・講師など 【取り組みのねらい・目的】個々に必要な課題を担当と相談し、プリントなどで補充指導する。 【使用教材】国語・算数のプリント学習。	プリントを担当に見せて、理解の状況を伝える。	個々の課題のプリントで正答率10ポイント改善。
6	継 続	夏季チャレンジ教室	全学年 国語・算数 学力調査正答率50%以下の児童各学年10名程度	夏季休業日中の 10日間	【指導者体制】全教員で分担 【取り組みのねらい・目的】基礎学力の定着と学力調査結果から分かったつまずきを改善し、学力向上を図る。 【使用教材】個々の課題に合わせたプリント・次へのステップ・学力調査の補充問題・夏休みのドリルなど	夏休み終了後の確認テストを実施。	夏休み終了後の確認テスト正答率10%アップ

7	継続	夏季自主学習教室	全学年 国語・算数 学力調査正答率50% 以上の児童	夏季休業日中の 10日間	【指導者体制】全教員で分担 【取り組みのねらい・目的】児童一人一人が自分の課題に合わせて学習する時間を確保し、わからないときなどは指導助言する。 【使用教材】次へのステップ・学力調査の補充問題・夏休みのドリル、その他自分で用意した問題集など	夏休み終了後の 確認テストを実施。	夏休み終了後の確認テ スト正答率10%アッ プ
8	改善	家庭学習	全児童 学年の取組状況により 順次実施	毎日	【指導者体制】各学年担任が共通取組と評価 【取り組みのねらい・目的】4月当初、児童に「家庭学習の手引き」を渡し家庭学習の仕方について指導する。また、保護者会で保護者にも「家庭学習の手引き」を渡し説明して協力を依頼。	宿題提出状況を 担任が記録。	宿題提出率90%目標
9	改善	かけ算九九検定免許証制度	2学年以上の全児童	12月～2月	【指導者体制】検定者は、管理職・算数少数担当2名・学習支援員1名。指導は、担任と算数少数担当。【取り組みのねらい・目的】学習の基礎となる九九を習得させるために100秒以内で暗唱させる。各学年2週間のうちに検定を受ける。ゴールド免許証は、1回での合格者に発行し、翌年度まで有効。普通免許証は、翌9月まで1ヶ月ごとにチェックし更新させ、完璧に覚えさせる。	学力向上主任と 担任が連携して 記録し、管理職 に提出する。	全員合格。
10	継続	パンダとゴマちゃんからの挑戦状 漢字テスト (校長と副校長)	全児童	毎月1回 (4月・10 月・3月を除 く)	【指導者体制】管理職・学習支援員・担任 【取り組みのねらい・目的】5・6・7・9月は前学年の漢字復習、11・12・1・2月は現学年の漢字復習をして、月1回確認テストを行い、基礎学力の定着を図る。 【使用教材】プリント教材	全問合格した児 童に毎回賞状を 渡す。	通過率90%目標
11	改善	春休みだよ！ パンダとゴマちゃんからの挑戦状	2学年以上の全児童	年度当初	【指導者体制】管理職・担任 【取り組みのねらい・目的】 春期休業中に、前学年度の復習を家庭で行わせる。前期のスタート直後にテストを実施し、定着度を確認する。 【使用教材】学力調査問題	80%以上の児 童に賞状を渡 す。	通過率85%目標
15	改善	児童理解及び学力向上対 策会議	全児童	年度当初 5月 7月 10月 1月	【指導者体制】管理職・学力向上委員長・担任 【取り組みのねらい・目的】 年度当初に、前担任から現担任へレクチャーを実施。調査結果については学年ごとに会議を実施し、個の学力状況の把握と分析及び対策を行う。1月には上学年から下学年担任に新年度に向けて、学力向上に関わるレクチャーを実施する。	10月の再テス ト	通過率90%目標